

平成30年度 デジタル道路地図基礎資料作成要領
空港・臨港道路(直轄)

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省 国土地理院 関東地方測量部

<目 次>

1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的	2
2. 作成・提供いただく資料	3
(1) 作成いただく資料	3
(2) 提供いただく資料	3
3. 空港、臨港道路 提出資料一覧	4
例1 更新データ一覧表(様式1)	6
例2 位置図	9
例3 平面図 CAD データ(工事用等)	10
例4 縦断面図 CAD データ	11
例5 標準横断面図 CAD データ	12
例6 中心線座標リスト	13

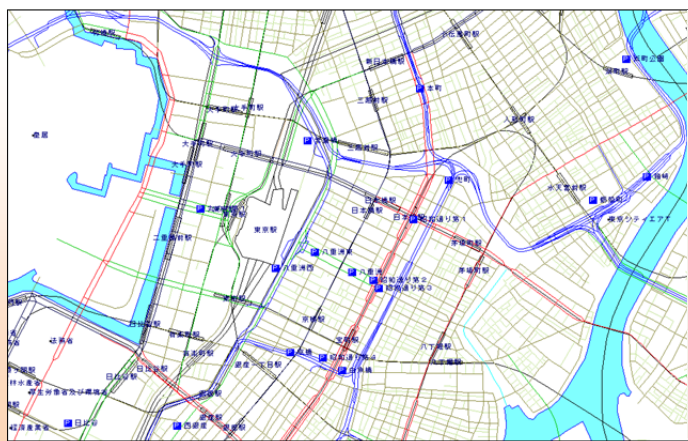
1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的

国土交通省の各地方整備局、北海道開発局、内閣府の沖縄総合事務局は、道路情報の最新の状況をデジタルデータとして把握し活用するため、毎年、全国のデジタル道路地図データベース(DRM データベース)を整備・更新しています。この DRM データベースを用いて、VICS、特車オンライン申請システム、道路交通センサス、交通事故分析など、様々な道路管理におけるシステムが運用されるとともにカーナビ用の基盤地図としても活用されています。

一方、国土地理院では、国土管理、地域防災の基本となる「電子国土基本図」を整備しています。電子国土基本図は、国や自治体の管内図をはじめ、民間が作成する様々な地図の更新などにも利用されており、特に道路等の情報については高精度かつ最新の情報として整備を進めているところです。

これらの DRM データベースや電子国土基本図は、最新の道路更新情報に基づいて着実な更新が必要です。そのため、国土交通省地方整備局等と国土交通省国土地理院地方測量部が合同で毎年定期的に「デジタル道路地図基礎資料の作成」を主要道路の管理者に依頼するものです。それぞれの道路管理者が持っている情報で、近く新規供用される道路の情報や管理者・施設等の変更情報を各地図更新用の基礎資料として所定の様式にまとめるとともに、当該箇所の図面データ等の提供を依頼するものです。

精度の高い DRM データベースと国土の基本図が整備され、迅速に着実に更新されるためには、「デジタル道路地図基礎資料」の質の高さに負うところが多大であり、関係道路管理者のご協力が必要不可欠です。



DRMデータベース

DRMデータベースの特徴

DRMデータベースは、道路のネットワークを表す地図のデータベースで、道路網を形成するノードとリンクには、官民が情報を共有するための固有番号(ID)が付与されています。

また、路線名、橋梁・トンネル、踏切等の道路に関する構造物や道路交通センサスの統計情報など、道路に関する情報を保有しています。



電子国土基本図

電子国土基本図の特徴

電子国土基本図は、国土地理院が刊行している1/25,000地形図の電子地図版に相当するもので、道路形状(都市計画区域等では1/2,500精度)のほか、等高線による地形や建物、土地利用の様子、地名などが詳細に表示されています。

インターネット上で、様々な地理的情報を重ねて表示することができ、地図を背景にした情報共有が可能です。

2. 作成・提供いただく資料

(1) 作成いただく資料

①一覧表

■様式1「更新データ一覧表」(6p 例1 参照)

内 容	対象道路の情報を整理したリスト
対 象 道 路	空港道路・臨港道路で幹線的な道路(※)
供 用 予 定 時 期	平成30年度
作 業	平成30年度に開通を予定している対象道路について道路の情報を記入する。

※幹線的な道路とは、広域的な交通が多くネットワークをなす路線、国の補助事業対象道路、広域農道、大規模林道、広域基幹林道、主要な観光地へ連絡する道路、特殊車両通行道路として位置づけられる道路、災害対策基本法に基づく地域防災計画における緊急輸送道路(今後位置づけられる予定の道路も含む)

②位置図 ※管内図・パンフレット等、既存の資料で位置が示された資料があれば作成不要

■位置図(8p 例2 参照)

内 容	更新対象箇所を記載した地図(既存の図が無い場合作成)
対 象	様式1に情報を追加・修正し、工事用図面を提供する箇所及び道路
作 業	管内図又は1/25,000地形図等に、 <u>更新対象箇所の位置と対照番号を記入</u> する。

(2) 提供いただく資料

■工事用図面等(平面図/縦断面図/標準横断面図/道路中心線座標リスト)

内 容	道路の形状、既存の道路との接続関係が分かる工事用平面図(10p例3)、及び平面図に対応する縦断面図(11p例4)、道路中心線の座標(測地座標又は平面直角座標)リスト(13p例6)、標準横断面図(12p例5)
対 象	様式1に追加した新規道路及び道路改良箇所
ファイル形式	CAD形式⇒SXF(拡張子がP21又はSFC)、またはAutoCAD(拡張子がDXF又はDWG)

※道路の新設・改良箇所は、①平面図/②縦断面図/③標準横断面図/④道路の中心座標を必ず提出する。

3. 空港、臨港道路 提出資料一覧

平成 30 年度に供用する空港・臨港道路のうち、以下の条件に該当する道路について様式 1 の記載内容の確認、追記と位置図及び平面図の提出してください。

(条件)

○主要な空港・臨港道路

- ・広域的な交通が多くネットワークをなす路線
- ・主要な観光地へ連絡する道路
- ・特殊車両通行道路として位置づけられる予定の道路
- ・地域防災計画における緊急輸送路として位置付けられる予定の道路

更新対象項目		新設	拡幅	線形改良	構造物等の新增設・追加・廃止・名称変更等	管理変更
内	容	新規路線の新設 バイパス等の新設	中央分離帯設置を伴う拡幅 車線数の増加 ・登坂車線、譲り合い車線設置は除く	道路中心線が移動する線形改良 交差点改良 ・地図上で交差点の形が変更になるような規模の改良を対象とする ・くいちがい交差点(2 交差点)を改良して 1 交差点にする場合は対象とする ・「右左折車線の追加」は対象としない	橋・高架 ・延長 15m 以上のもの トンネル ・全てのトンネル 踏切 立体交差 横断歩道橋	新設に伴う旧道の移管 道路管理者・道路種別・路線番号等変更 道路の廃止 ・一般の通行の用に供しなくなった道路を含む
	供用・実施予定時期	平成 30 年度供用 注1				
提出資料 ○印	箇所一覧表	○ 更新データ一覧表(様式1) (例1)				
	位置図	○ (例2)	○ (例2)	○ (例2)	○ (例2)	
	CADデータ	平面図	○ (例3) 注2	○ (例3) 注2	○ (例3) 注2	
		縦断面図	○ (例4) 注2	○ (例4) 注2	○ (例4) 注2	
		標準横断面図	○ (例5) 注2	○ (例5) 注2	○ (例5) 注2	
	中心線座標リスト	○ (例6)	○ (例6)	○ (例6)		

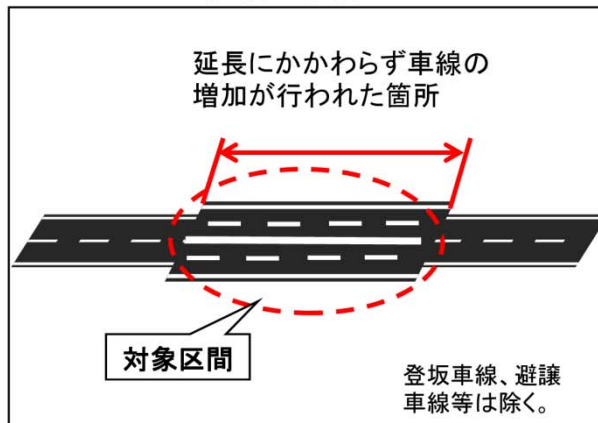
注 1 「供用」には告示・公示上の供用のほかに事実上の交通開放等を含む。

注 2 できる限り CAD で提出してください。形式は次のいずれか・・・ SXF 形式(拡張子が P21 又は SFC)、AutoCAD(拡張子が DXF 又は DWG)
この形式の CAD データがどうしても無い場合は提出先に相談してください。

■ 対象とする事象

分類	事 象
新規供用	道路の新設、バイパスの新設等
拡幅等	車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)、道路中心線の移動。 幅員変更のみ、登坂車線の設置等は除く。
線形改良	局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動

拡幅の事例

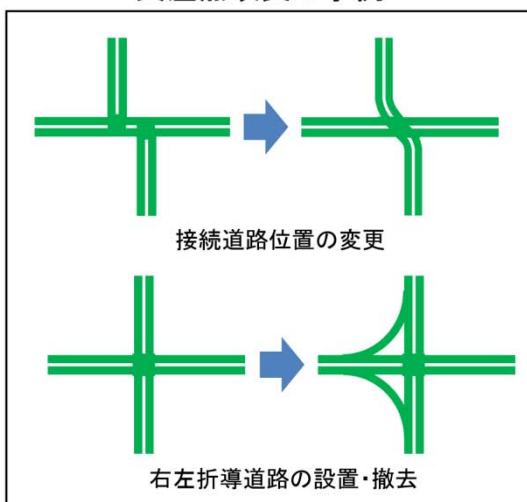


線形改良の事例

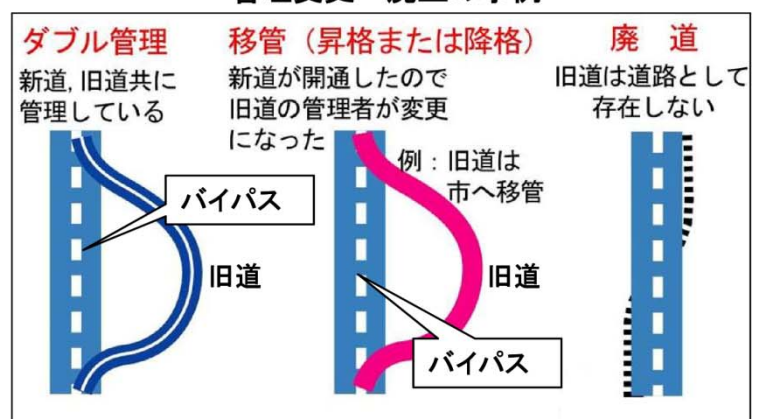


分類	事 象
交差点改良	交差点立体化、ラウンドアバウト(環状交差点)、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去。 右左折車線設置のみは除く。
管理変更・廃止等	道路管理者・道路種別・路線番号・名称変更など
規制等変更	有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更 ICランプ、交差点導流路など道路構造から決まる一方通行の変更。 公安委員会決定等の一方通行は対象外。

交差点改良の事例



管理変更・廃止の事例



例：更新データ一覧表(様式1)

例1

記入例は架空のものです。
例示した位置図とこの表の記入例は対応していません。

更新データ一覧表																
確認済みの場合は「済」と記入					月が未定の場合は年度のみで可	高速道路は、IC等名を記入する			標準幅員を記入		記入者、電話番号等を記入			H30 年度追加項目		
位置図	平面図	縦断面	横断面	中心線座標	確認	DRM管理番号	位置図との対象番号	道路種別	路線番号	道路名等(バイパス名)	更新内容等	供用予定年月	区間	延長(m)	車道幅員(m)	車線数(上下線合計)
H29済	H29済	H29済	H29済	H29済	済	13089030300		1：高速自動車国道	◎◎自動車道	新規供用		29.12	△△△△△～□□IC	2,000	10.0	2
H29済	H29済	H29済	H29済	H29済	済	13089030301			〃	●トンネル(●じんねる)				500		
					済	13089030500			〃	□□IC(□□IC)		30年度				
					済	14089030700		3：一般国道	***	国道**号線	新規供用	30.04.21	〇〇*****～△△*****	3,000	6.5	2
					済	14089030900		3：一般国道	***	国道**号線 第2工区	新規供用	30年度31年度	〇〇*****～△△*****	2,500	6.0	2
					済	14089030901			〃	〇〇橋(〇〇はし)				900		
未受領	未受領	未受領	未受領	未受領	済	14089031000		2：都市高速道路	***	△△バイパス	新規供用	30.11	△△市△△町xx丁目～□□町xx丁目	1500	10.8	2
					済	15089041000		3：一般国道	***	国道**号線	距離変更(0.1kp～2.2kp)	供用済		200		
					済	15089041001		3：一般国道	〃	〇〇歩道橋新設		30.11				
					済	15089041002		9：政令市以外の一般市町村道	〃	◎◎路切廃止		30.05		10		
H29済	H29済	未受領	未受領	未受領	済	14089040100		9：政令市以外の一般市町村道	***	△△旧道	移管(□□町～移管)	29.03 31.03	〇〇*****～△△*****	1,000	6.0	2
H29済	H29済	未受領	未受領	未受領	済	15089030400		6：一般都道府県道	***	〇〇停車場線	新規供用	31.03	〇〇*****～△△*****	1,800 1,500		
H29済	H29済				済	15089011100		2：都市高速道路	*	□□道路	料金所移転	30.03.31				
【以下、社会資本総合整備計画及びホームページより該当する可能性があるものを抜粋しました。上記記載の箇所との重複並びにDRM更新に該当する事業か否かをご確認のうえ、該当する場合には資料一式のご提供をお願いいたします】																
					済					●●道路	交差点改良(××交差点)	H30	▲▲▲～●●●	250		
あり	あり(CAあり)	あり	あり	あり(経)	済		①	5：主要地方道(指定市道)	**	▲▲道路	新規供用	H30	▲▲▲～●●●	2,500	18	4
あり	あり(CAあり)	一部あり	提出不可		済			5：主要地方道(指定市道)	****	●●道路	拡幅改良	H30-H33	◆◆◆～◎◎◎	900	9	2
					済			5：主要地方道(指定市道)	****	〇〇停車場線	新規供用	31.03	◆◆◆～〇〇〇	1,500	6	2
					済			6：一般都道府県道	**	〇〇△△線	4車線拡幅	30.04	◆◆◆～〇〇〇	850	13	4
以下に上記以外で別の事業で「平成30～32年度までに完成予定」と見込まれる箇所などがあれば追記して下さい。※移管等も含んで下さい。																
あり	あり(CAあり)	あり	あり	あり(経)			②	6：一般都道府県道	**	県道〇〇線	道路改良	32.03	▲▲〇〇～▲▲〇〇	400		
あり	あり(CAあり)	あり	あり	あり(上)			③	6：一般都道府県道		〇〇トンネル→▲▲トンネル	名称変更	31.03		300		
							④			施設位置変更 事務所移転(〇〇事務所)		30.12	◆◆市〇〇町xx丁目→xx			

行は必要に応じて追加して下さい
記載に関する詳細は作成ポイント及び「平成30年度デジタル道路地図基礎資料作成要領」をご確認下さい

様式 1 の作成ポイント

■供用予定や工事図面に大幅な変更があった場合も資料提供により変更可能です。

■対象箇所が無い場合は空欄のままの様式 1 を送付下さい。

(1) 「資料提供確認」欄 (B～F 列)

①未受領と記載されている箇所は、該当の資料を受領しておりませんのでご提供下さい。

②ピンクに塗られた箇所及び斜線の箇所については、資料を受領済等ですので不要です。

なお、必要図面等 (本資料の最後に掲載) の添付の可否に係わらず、プルダウンから必要事項を選択して下さい。

(2) 「確認」欄 (G 列)

各行の記載内容を確認し、内容が異なる箇所は赤字で訂正して下さい。確認が済みましたら必ず「済」と記入してください。

(3) 「位置図との対象番号」欄 (I 列)

図面等を添付する必要がある場合は、この欄に通し番号を記入し、その番号を添付ファイル名にも付けて下さい。

(4) 「道路種別」欄 (J 列)

下記から当てはまる道路種別の番号または記号をご記入ください。

1：高速自動車国道	2：都市高速道路	3：一般国道
4：主要地方道（都道府県道）	5：主要地方道（指定市道）	6：一般都道府県道
7：政令市の一般市道	9：政令市以外の一般市町村道	
A：臨港道路	B：農道	C：林道
D：道路運送法の道路	E：私道	F：その他

一般有料道路については、備考欄に「一般有料」と記入して下さい。

(5) 「更新内容等」欄 (N 列)

①道路の更新箇所について

新規供用、拡幅・中央分離帯設置（上下分離）、線形改良、交差点改良、管理変更（過去 3 年間の管理変更・廃道など）等を記載して下さい。

②道路施設等について

橋梁等の対象施設の名称（漢字等の表記と読み仮名）を、①から改行して記載して下さい。

【該当性の判断基準】

平成 32 年度までに供用予定見込（工区の一部で供用予定のものも該当します）

（都道府県道・政令市の農道・林道・臨港道路等は平成 30 年度まで）

- ・新規供用（道路の新設、バイパス）、拡幅等（車線数の増加・減少、中央分離帯設置（上下線分離）、道路中心線の移動が該当し、幅員変更のみは該当しません）

線形改良（局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動）、交差点の改良（交差点立体化、ランドアバウト、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去が該当し、右左折車線の設置のみは該当しません）

- ・SA・PA、IC・JCT、スマート IC、橋・高架（延長 15m 以上）、トンネル、踏切、立体交差、横断歩道橋、料金所、SA・PA・駐車場、道路冠水想定箇所、ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター、交差点名称、道路通称名（直轄国道バイパス名など）等が該当します。

(6) 「データ化反映結果」欄 (T 列)

① 「データ化済」と書いてある行について

デジタル道路地図として既にデータ化済みです。記載データに変更や修正箇所がある場合、赤字で修正して下さい。また、線形変更等により大幅な変更が生じた場合はその図面等をご提供下さい。

② 「未実施」と書いてある行について

右隣の「備考欄」や「資料提供確認欄」等を確認し、照会票を参照のうえご回答下さい。

(7) A 列の「社会資本欄」の行に記載のある箇所について

以下に従って、「DRM 該当判断結果」欄 (V 列) にプルダウンを用いて必要事項を記入して下さい。

① 「過年度受領」欄等に既に記載されているデータと重複している場合

「他の記載箇所と重複」を選択し、「備考」欄 (U 列) に、既に記載されているデータの「管理番号」 (H 列) を記入して下さい。

② 「該当する」「該当する (一部区間)」の場合

当該行の記載内容を適宜赤字で修正・追記したうえで、必要図面もご提供下さい。

② 「該当しない」場合

工事内容が該当しない場合は「該当しない (工事内容)」を、供用予定が平成 33 年度以降のため該当しない場合は「該当しない (33 年度供用予定)」等年度に合わせ選択して下さい。

(8) A 列の「新規追加」欄の箇所について

「平成 32 年度までに完成」と見込まれる箇所で、A 列の過年度受領済欄及び社会資本欄に記載されていないものがあれば、「新規追加」欄へ追記のうえ、必要図面もご提供下さい。(事業工区の一部区間等暫定的な供用も含む)

(9) 「民間提供可否」欄 (X 列)

民間への資料提供が「可」の場合は「○」、「否」の場合は「×」を記入してください。

①提供先となる民間・・・DRM協会との契約により DRMDB を使用している民間企業主にはトヨタ自動車 (トヨタマップマスター)、パイオニア (インクリメント P)、ゼンリン、昭文社などデジタル道路地図を作成している民間企業)

②提供する資料・・・位置図、平面図、縦断図、標準断面図、道路中心線座標リスト

③民間での資料の取り扱いなど

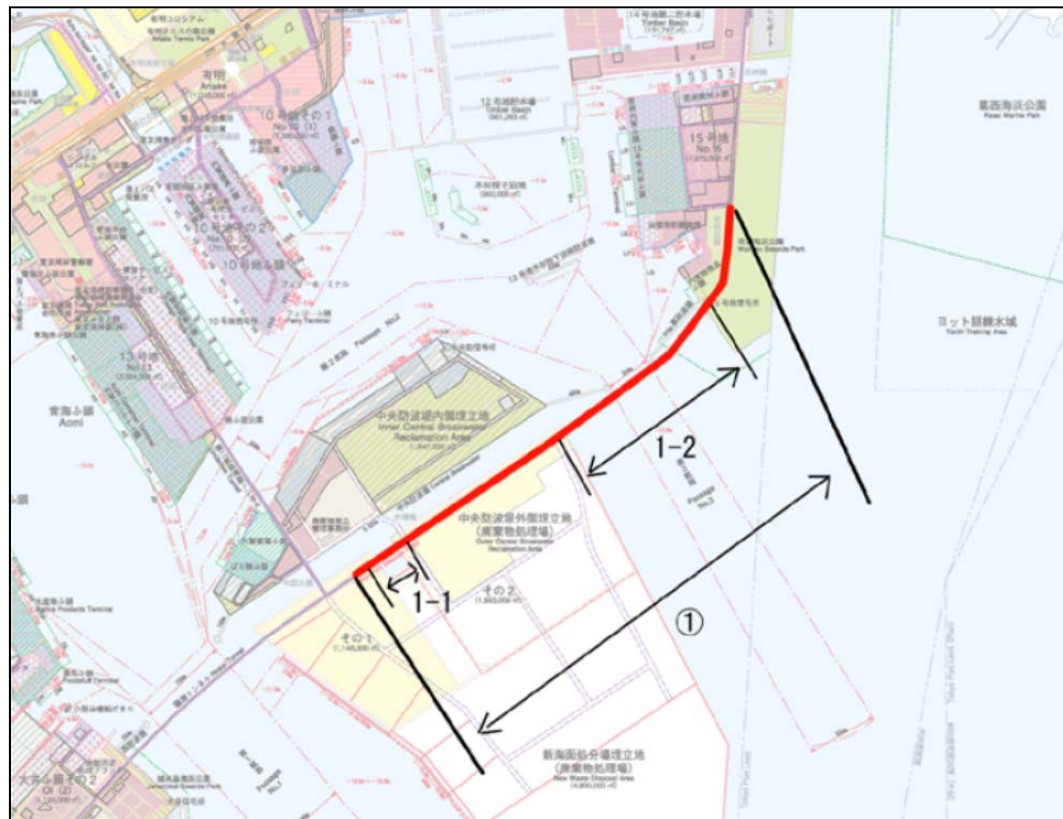
- ・ナビゲーション用などの地図作成のみに使用 (DRM協会との契約で決められているデータベースの使用目的による)
- ・資料の機密保持 (DRM協会との契約で決められている機密の保持 (第三者への漏洩禁止) による)
- ・完成時との相違 (特に計画・工事段階の資料などで、完成時と異なることが想定されるような場合には、提供を受けた企業の責任で、その差異を最終確認)

例2 位置図

➤ 位置図は 1/25,000～50,000 程度の縮尺で作成する。

(パンフレットに位置が明記してあれば、道路構造物、施設に関する位置図の作成は不要。)

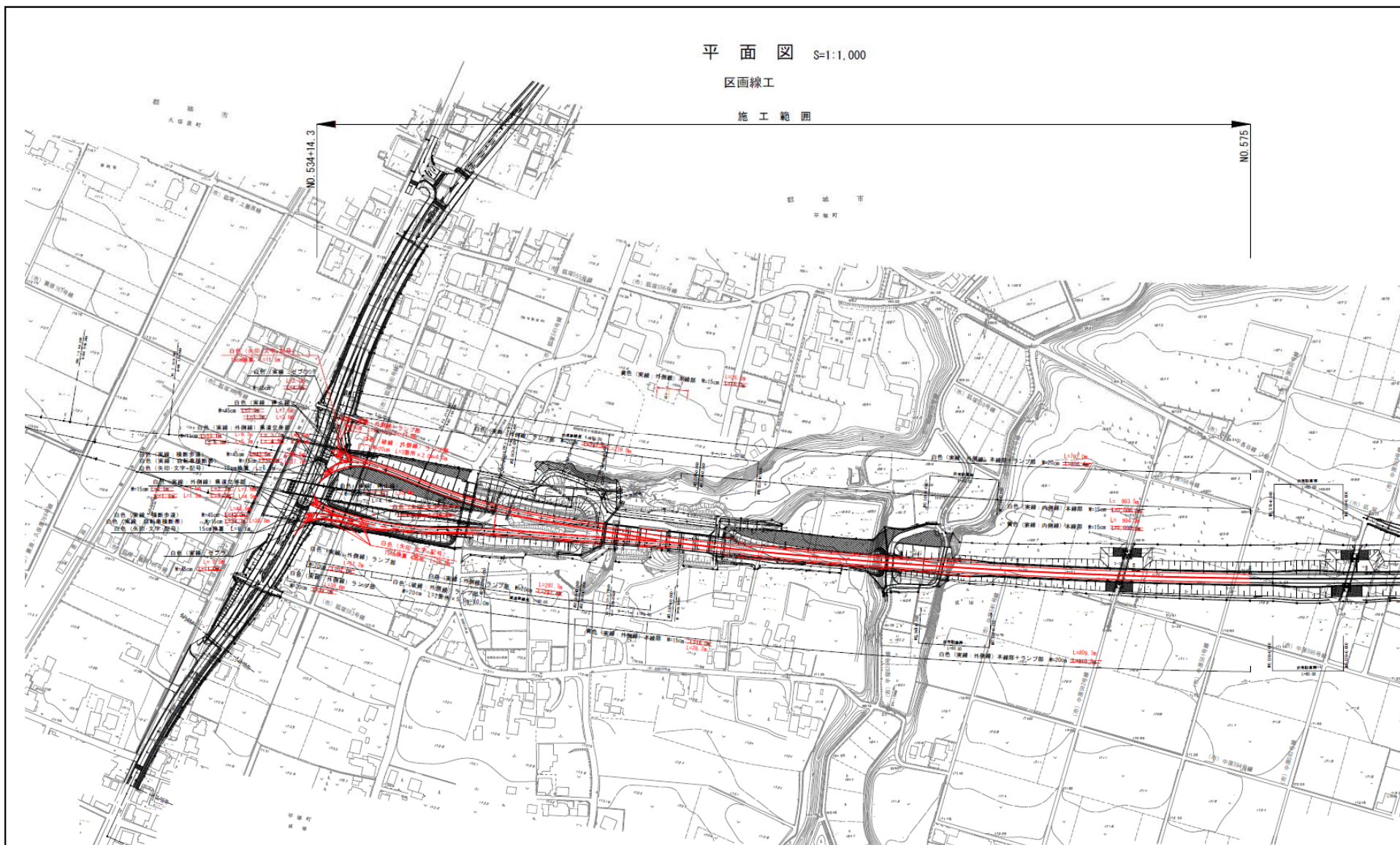
例2 ■新規供用・橋



例3 平面図 CAD データ（工事用等）

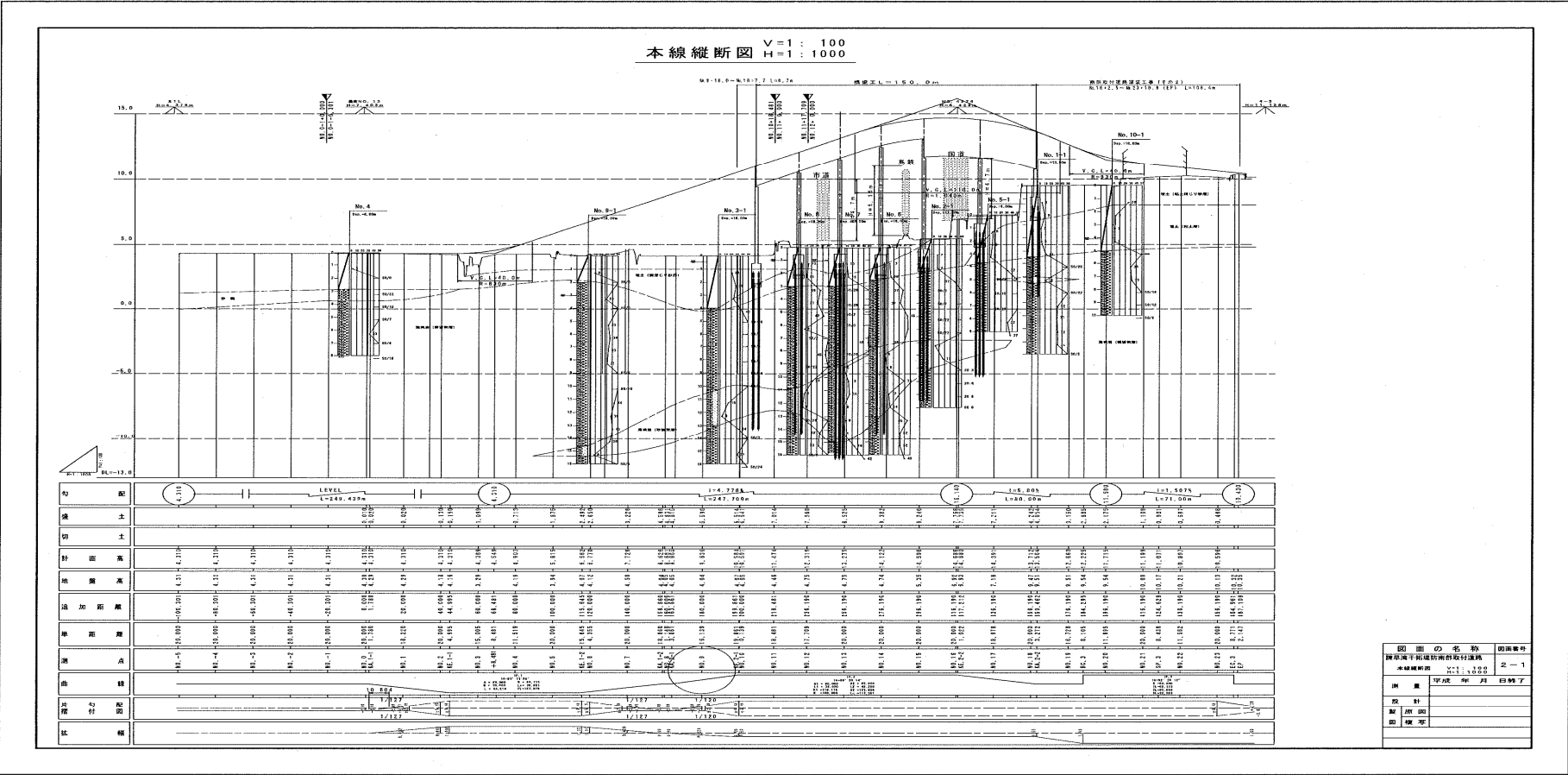
CAD 図面のデータを提出する。

当該予定全区間を含む縮尺 1/500～1/1,000 程度の区画線協議図等、供用時の状況を反映した図面がある場合は、その図面の CAD データを提出する。
供用時の状況を反映した図面が無い場合は、当該予定全区間を含む縮尺 1/500～1/1,000 程度の道路詳細設計図等の CAD データを提出する。



例4 縦断面図 CAD データ

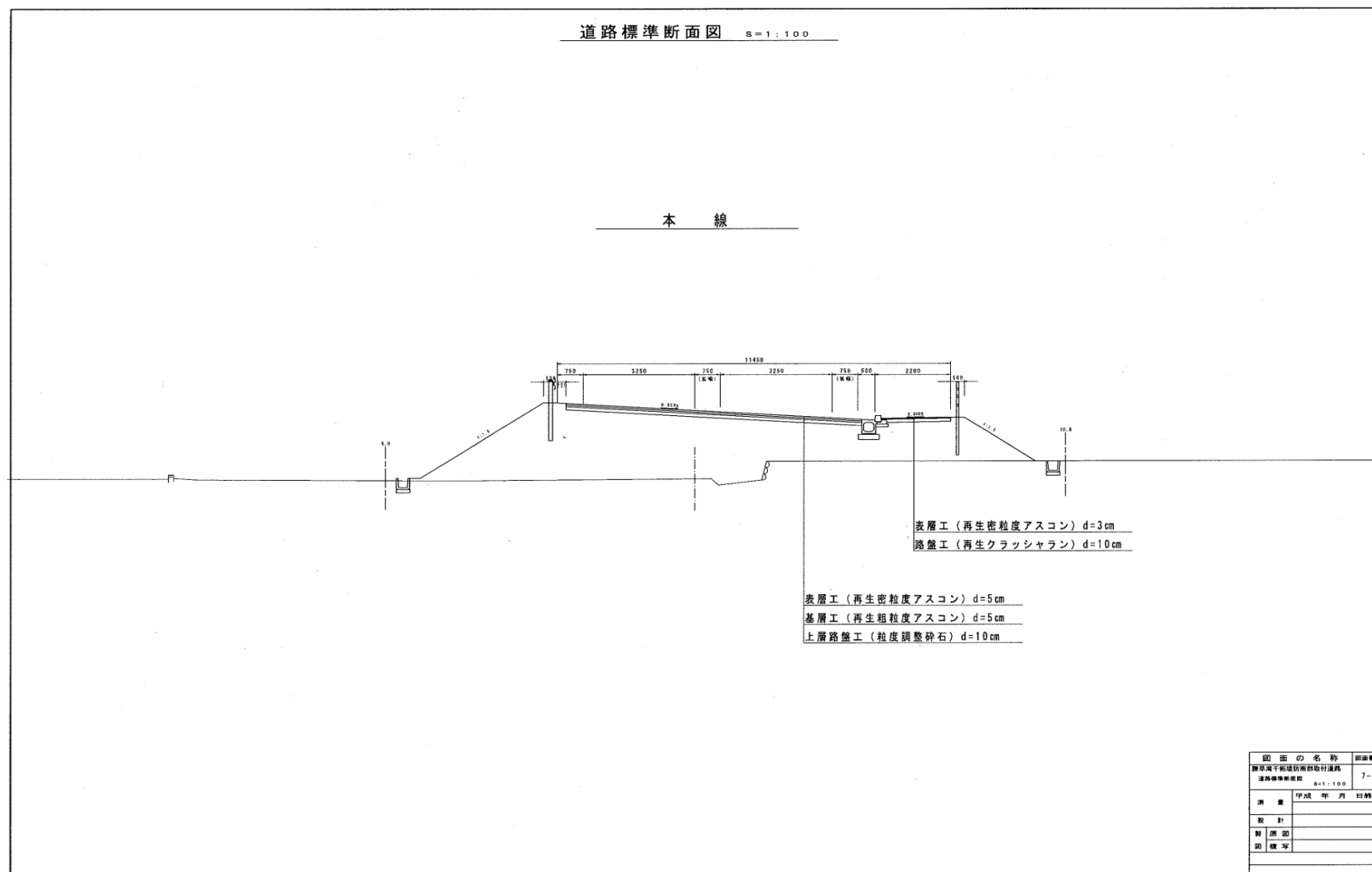
CAD 図面データを提出する。



縦断面図

例5 標準横断面図 CAD データ

CAD 図面データを提出する。



標準横断面図

※平面図で歩道設置状況・路肩状況が確認可能であれば標準横断面図の提出は不要(1/500 程度の平面図を想定)

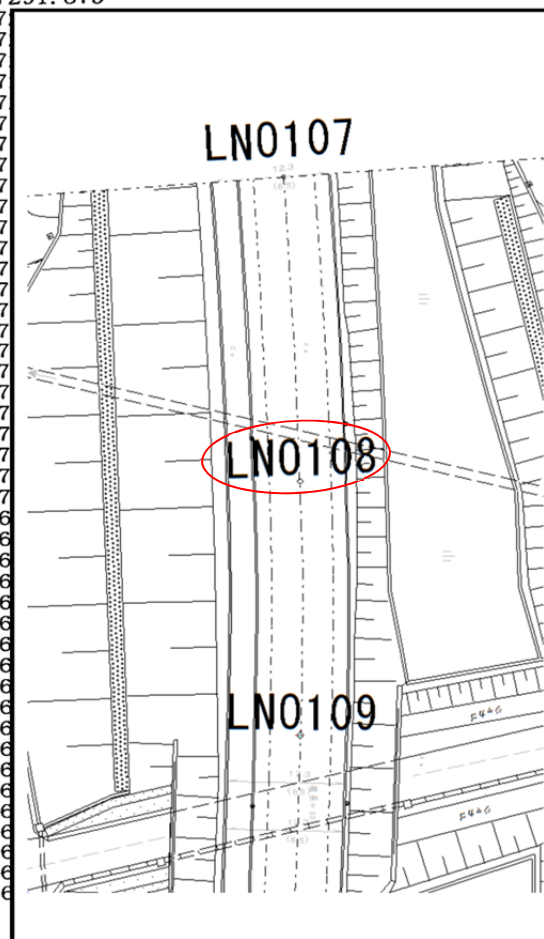
例6 中心線座標リスト

現場名：

<<座標LIST>> (世界測地系)

点名	X座標	Y座標
LN0107	-68864.884	-18386.413
LN0107+20	-68866.316	-18365.234
LN0107+40	-68880.963	-18350.466
LN0107+60	-68888.996	-18332.511
LN0107+80	-68897.027	-18314.558
LN0108	-68905.059	-18296.606
LN0108+20	-68913.091	-18278.651
LN0108+40	-68921.126	-18260.690
LN0108+60	-68929.166	-18242.720
LN0108+80	-68937.212	-18224.736
LN0109	-68945.264	-18206.736
LN0109+20	-68953.340	-18188.684
LN0109+40	-68961.429	-18170.603
LN0109+60	-68969.526	-18152.502
LN0109+80	-68977.633	-18134.376
LN0110	-68985.752	-18116.225
LN0110+20	-68993.884	-18098.046
LN0110+40	-69002.029	-18079.836
LN0110+60	-69010.188	-18061.594
LN0110+80	-69018.364	-18043.315
LN0111	-69024.200	-18024.311
LN0111+20	-69029.517	-18005.157
LN0111+40	-69034.837	-17985.997
LN0111+60	-69040.187	-17966.727
LN0111+80	-69045.529	-17947.452
LN0112	-69050.732	-17928.141
LN0112+20	-69055.936	-17908.829
LN0112+40	-69061.140	-17889.518
LN0112+60	-69066.343	-17870.207
LN0112+80	-69071.547	-17850.895
LN0113	-69076.751	-17831.584
LN0113+20	-69082.106	-17812.313
LN0113+40	-69087.531	-17793.063
LN0113+60	-69092.956	-17773.814
LN0113+80	-69098.382	-17754.562
LN0114	-69103.807	-17735.312
LN0114+20	-69109.233	-17716.061
LN0114+40	-69114.658	-17696.811
LN0114+60	-69120.020	-17677.543
LN0114+80	-69125.332	-17658.262
LN0115	-69130.645	-17638.980
LN0115+20	-69135.958	-17619.698
LN0115+40	-69141.270	-17600.417
LN0115+60	-69146.583	-17581.135
LN0115+80	-69151.908	-17561.857
LN0116	-69157.240	-17542.581
LN0116+20	-69162.571	-17523.305
LN0116+40	-69167.902	-17504.028
LN0116+60	-69173.233	-17484.752
LN0116+80	-69178.564	-17465.476
LN0117	-69170.127	-17442.382

点名	X座標	Y座標
LN0117+20	-69189.263	-17426.839
LN0117+40	-69194.638	-17407.427
LN0117+60	-69200.034	-17387.943
LN0117+80	-69205.453	-17368.375
LN0118	-69210.902	-17348.699
LN0118+20	-69218.006	-17329.499
LN0118+40	-69226.322	-17310.709
LN0118+60	-69234.657	-17291.873
LN0118+80	-69243.029	-17272.037
LN0119	-69251.442	-17252.201
LN0119+20	-69259.922	-17232.365
LN0119+40	-69271.791	-17212.529
LN0119+60	-69284.670	-17192.693
LN0119+80	-69297.517	-17172.857
LN0120	-69310.373	-17153.021
LN0120+20	-69323.278	-17133.185
LN0120+40	-69336.276	-17113.349
LN0120+60	-69352.334	-17093.513
LN0120+80	-69365.022	-17073.677
LN0121	-69390.972	-17053.841
LN0121+20	-69408.978	-17034.005
LN0121+40	-69426.828	-17014.169
LN0121+60	-69444.579	-17000.000
LN0121+80	-69462.287	-16985.831
LN0122	-69480.010	-16971.662
LN0122+20	-69497.804	-16957.493
LN0122+40	-69515.725	-16943.324
LN0122+60	-69533.807	-16929.155
LN0122+80	-69552.088	-16914.986
LN0123	-69571.523	-16900.817
LN0123+20	-69591.867	-16886.648
LN0123+40	-69612.086	-16872.479
LN0123+60	-69632.221	-16858.310
LN0123+80	-69652.306	-16844.141
LN0124	-69672.364	-16829.972
LN0124+20	-69692.416	-16815.803
LN0124+60	-69732.536	-16797.274
LN0124+80	-69752.719	-16778.745
LN0125	-69772.936	-16760.216
LN0125+20	-69793.102	-16741.687
LN0125+40	-69813.224	-16723.158
LN0125+60	-69833.304	-16704.629
LN0125+80	-69853.347	-16686.100
LN0126	-69873.373	-16667.571
LN0126+20	-69893.396	-16649.042
LN0126+40	-69913.420	-16630.513
LN0126+60	-69933.445	-16611.984
LN0126+80	-69953.471	-16593.455
LN0127	-69973.498	-16574.926
LN0127+20	-69993.525	-16556.397
LN0127+40	-70013.554	-16537.868



※リストの最初のページに「日本測地系」もしくは「世界測地系」の区分を記載してください。